

## 全国科学館連携協議会 平成 30 年度近畿ブロック会議議事録

日時：平成 30 年 10 月 11 日（木）10：30～12：00

場所：大阪市立中央図書館 5 階大会議室

参加者：大島洋喜・米田智美（伊丹市立こども文化科学館）橋本一（大阪科学技術館）  
小野昌弘（大阪市立科学館）堀本美和（橿原市立こども科学館）末次菜穂子・兒島貴子  
（神戸市立青少年科学館）辻本勝（福知山市児童科学館）鈴木武（兵庫県立人と自然の  
博物館）谷村優太（連携協 事務局）

### 1. 幹事館の交替と今後について

- ・平成 31 年度より、近畿ブロック幹事館を神戸市立青少年科学館に交替することとなった。
- ・平成 30 年度の予算の執行について、研修会や共用の展示物などの案が示された  
→展示物は置場の問題もある。過年度には連携協での展示物作成予算があった。具体化  
できるのであれば事務局に提案する方法ある（谷村）

### 2. 各館の近況など

- 大阪市立科学館が加盟、木津市立加茂プラネタリウム館が閉館したため、近畿ブロッ  
クは平成 30 年 10 月時点で 19 館。
- 移動展示車のアウトリーチが増えている。経費がつけば県外への運用も可能（鈴木）  
→来てもらうとするとどの程度の経費が必要か？（辻本）  
→旅費の関係もあるので個別に相談下さい。フェスティバル型のブロック会議に出動し  
てみてもらうことはできる（鈴木）
- 5 年ごとの指定管理の更新年度にあたっており、評価の方法などについての情報の共  
有もあっていいかもしれない（末次）
- 大阪ではインバウンドによる外国人が増えており、対応に苦勞している。特に英語が  
読めない中国人に対しての工夫を進めている（小野）
  - ・外国語表記はどうしているのか？→英韓中で併記している。
  - ・中韓からの視察が増えている（橋本）日本科学未来館では来館者の 3 割くらいが外国  
人客（谷本）などの情報もあった。
- サイエンスチャンネルからの動画を利用していたが、今年度で終了で残念な（堀本）

以上